第45回

時間学カフェ

日時：2026年10月27日（火）13時30分～
会場：山口大学吉田キャンパス 福利厚生施設 FAVO 多目的ルーム

話題提供者

日浦 健 先生（山口大学大学院創成科学研究科・助教、時間学研究所・兼務所員）

【時間の向きはいかにして生じるか】

地点Aからボールを投げると、(空気抵抗を無視すれば)ボールは放物線を描いて地上の地点Bに落下する。この様子を動画に撮影し、AとBの付近を隠して誰かに見せたとしよう。ボールの運動だけからは、AからBに向かう順再生と、BからAに向かう逆再生とを区別することができない。これを力学法則の時間反転対称性と呼ぶ。一方，容器の中央に仕切りを設け、両側に気体を異なる密度で封入する。仕切りを外すと、両側の密度差は徐々に小さくなり、やがて密度は一様になる。気体分子たちは、ボールと同じ力学法則に従っているから、時間反転対称性により、一様密度の状態から自発的に密度の偏りが生じていく運動も存在する。しかし、我々はこれまでそのような現象を観測したことがない。古くから「時間の矢のパラドックス」と呼ばれる問題について、独断と偏見に基づいていくつかの論点を紹介する。

時間学カフェとは。。。

ヒトの時間、社会の時間、機械の時間、心の時間・・・この世の、あらゆることがらは時間と関係しています。

どこにどれだけ「多様な時間の姿」があるのか？

気ままに、話の赴くままにお喋りしてみませんか？
色んな分野の人との交流から新しい発見があるかもしれません。

研究の話でも、思いつきでも、突拍子のない考えでも、便乗発言大歓迎！

先生、職員、学生、学外の方、どなたでも参加ＯＫ

♪参加無料
♪申し込み不要

お問合せ先

時間学研究所事務室
Tel：083-933-5848
E-mail：
sh076@
yamaguchi-u.ac.jp